

コーディング指示書

基本条件

- レスポンシブデザイン:各デバイス(PC、タブレット、スマートフォン)で表示が最適化されるようにしてください。
 - テキストの取り扱い:画像化せず、HTMLテキストとして実装します。
 - ボタンのホバー効果:マウスオーバー時にボタンの背景色が変わるように設定してください。
-

セクションごとの指示

1. ヘッダーセクション

- テキスト:「WEBサイト制作をChatGPTで練習してみよう！」
 - フォントサイズ:PCで28px、モバイルで20px
 - フォントカラー:#FFFFFF
- 説明文:「ChatGPTはWEBサイト制作にも便利に使えるツールです...」
 - フォントサイズ:PCで16px、モバイルで14px
 - フォントカラー:#FFFFFF
- ボタン:「ChatGPTはこちら」
 - 背景色:#F5B7B1
 - ホバー時の背景色:#E57373
 - フォントサイズ:PCで18px、モバイルで16px
 - フォントカラー:#FFFFFF
 - ボーダー:なし
- イメージ画像:右側にスマホを持つ手の画像を配置
 - 画像サイズは自動調整

2. メインセクション

- タイトル:「AIができること」
 - フォントサイズ:PCで26px、モバイルで20px
 - フォントカラー:#FFFFFF
- リストアイテム:
 - 各項目に対して、アイコンとして頭のシルエットと回路をイメージした画像を配置
 - アイテムリストは以下の通り:

- サイト検討とコンセプト作成
- コンテンツ作成
- デザインアイデアの研究
- SEO最適化
- マーケティング戦略
- 競合サイトのリサーチ
- フォントサイズ:PCで16px、モバイルで14px
- フォントカラー:#FFFFFF
- ボタン:「うまく活用しましょう！」
 - 背景色:#F5B7B1
 - ホバー時の背景色:#E57373
 - フォントサイズ:PCで18px、モバイルで16px
 - フォントカラー:#FFFFFF
 - ボーダー:なし

3. 活用事例セクション

- タイトル:「活用事例」
 - フォントサイズ:PCで28px、モバイルで22px
 - フォントカラー:#FFFFFF
- 事例リスト:
 - 各事例のアイコンとして、楕円形に切り取られた画像を配置
 - マーケティング戦略
 - コンテンツ作成
 - サイト設計
 - フォントサイズ:PCで16px、モバイルで14px
 - フォントカラー:#FFFFFF

その他の注意事項

- レイアウトが崩れないよう、CSSグリッドやフレックスボックスを適宜使用してください。
- レスポンシブデザインにはメディアクエリを活用し、スクリーン幅に応じて要素の配置やサイズを調整してください。
- 画像には適切なalt属性を設定し、アクセシビリティを確保してください。
- ボタンのホバー効果やその他のインタラクションは、CSSを使用して実装してください。

この指示書に従って、Webページのコーディングを行ってください。追加の質問や不明点があれば、お知らせください。